

科目名称	成人看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	1	30
担当教員	上原 茂相	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 看護師 ) <input type="checkbox"/> 無	

#### 【1】 授業概要

成人への看護に有用な基本的概念や理論を学びながら、成人期の対象について理解を深め、成人期の対象への個々のライフスタイルに沿った援助について考える。

#### 【2】 学習目標

1. 成人期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を説明することができる。
2. 健康問題が成人期の生活に及ぼす影響を説明することができる。
3. 成人期に必要な援助と看護の役割を述べることができる。
4. 学生自らの健康問題を明らかにし、健康の保持増進に努めることができる。

#### 【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

#### 【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	成人看護学を学ぶ目的と意義、「成人」の定義、成人期の区分と各期の特徴、発達課題 成人期の生活状況・健康状態について	講義 グループワーク
2	生活習慣と健康問題の関連、職業性疾病、社会的な問題、健康な生活を送っている人々の健康増進への支援、ヘルスプロモーション、個人の主体的な健康づくり、健康増進のための環境づくりについて	講義 グループワーク
3	成人の特徴と健康問題 グループワークでまとめた成人期の特徴を元に、成人期の事例の特徴を説明する	講義 グループワーク発表
4	成人への看護アプローチ① 学習理論、成人教育	講義
5	成人への看護アプローチ② オレムの看護理論(セルフケア・セルフケア不足・看護システム)	講義 グループワーク
6	成人への看護アプローチ③ 症状マネジメントの統合的アプローチ、コンプライアンスとアドヒアランス、コンコーダンス	講義 グループワーク
7	成人への看護アプローチ④ 病みの軌跡モデル	講義 グループワーク
8	成人への看護アプローチ⑤ 危機理論	講義 グループワーク発表
9	成人への看護アプローチ⑥ リフレクション、エンパワメント	講義 グループワーク発表
10	成人への看護アプローチ⑦ ストレスとストレスコーピング、ストレスマネジメント、成人の健康をおびやかす要因と健康障害について、	講義 グループワーク発表
11	成人への看護アプローチ⑧ 自己効力感、保健信念モデル	講義 グループワーク発表
12	青年期(学生自身)の健康問題と解決① 学生自身の健康問題とその解決策について話し合う	講義 グループワーク
13	青年期(学生自身)の健康問題と解決② 学生自身の健康問題とその解決策について話し合う	講義 グループワーク
14	青年期(学生自身)の健康問題と解決③ 成人期にある対象への看護の役割	講義 グループワーク発表
15	試験・まとめ	

#### 【5】 評価方法

授業内のレポートや提出物および試験(85点)、グループワーク(15点)で評価する。

#### 【6】 教科書

小松浩子:系統看護学講座 専門分野 成人看護学1 成人看護学総論(第16版) 医学書院 2026 (電子版)  
野川道子 他編著「看護実践に活かす中範囲理論」第3版 メヂカルフレンド社 2023  
国民衛生の動向 Vol.72 No.9 2025/2026 厚生労働統計協会 2025

**【7】 参考書**

安酸史子・鈴木純恵、吉田澄恵 編集:ナーシング・グラフィカ 22 成人看護学—成人看護学概論 メディカ出版  
大西和子、岡部聡子 編集:成人看護学概論 ニューベルヒロカワ  
黒田裕子 監修:やさしく学ぶ看護理論:日総研

**【8】 受講生へのメッセージ**

成人看護学は最も単位数の多い看護学科目です。本科目はその概論ですから、成人看護学の基となる科目です。一緒にしっかり学習し、今後学んでいく成人各論につなげていきましょう。